

新・医師確保対策アクションプランの実施状況について（報告）

1 医師の養成・確保及び定着対策

(1) 奨学金等医師養成事業

ア 大学医学部の臨時定員増の継続に向けた働きかけ

岩手医科大学医学部及び東北大学医学部の臨時定員増の継続、さらに定員増の恒久化について、国に要望を行った。令和5年度の医学部臨時定員は、歯学部振替枠を除き令和4年度と同様の方法で設定。岩手医科大学入学定員130名が維持。

イ 医学奨学金の貸与

○ 医師奨学金等貸付決定の状況（貸付決定時の人員 平成20年度～）（単位：人）

区分【事業主体】	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	合計	制度創設からの累計
①県医師修学資金貸付事業 【岩手県】	10	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	205	H20～ 220
②医療局奨学資金貸付事業 【医療局】	20	15	23	24	20	22	23	19	18	19	22	25	25	25	25	335	H9～ 458
③市町村医師養成修学資金事業 【国保連】	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	210	H16～ 179
合計貸付者数	45	45	53	54	50	52	51	43	40	43	52	55	55	55	55	750	857
貸付定員充足率	84.4%	95.6%	85.5%	92.7%	76.4%	83.6%	80.0%	72.7%	76.4%	87.3%	90.9%	83.6%	96.4%	100.0%	87.3%	92.4%	

○ 制度別の奨学金貸付者の状況（R4.4.1現在 平成19年度以前の旧制度を含む）（単位：人）

貸付年度	貸付	貸付者の状況									
		在学中	途中廃止	卒業	国試受験	初期臨床	義務履行	猶予	義務終了	一部履行	全部返還
岩手県医師修学資金（地域枠）	220	92	4	124	0	29	54	34	0	0	7
市町村医師養成修学資金	179	65	11	103	0	17	26	23	16	6	12
医療局医師奨学資金等	458	137	28	293	0	31	81	62	57	14	30
合計	857	294	43	520	0	77	161	119	73	20	49
自治医科大学	132	17	1	114	0	6	15	7	83	0	3

ウ 養成医師の定着対策

① いわて医学奨学生サマーガイダンス

奨学金新規貸付者を対象に、地域医療に関する意識の醸成を図るもの。知事の講話や、県内で活躍する医師による講演等を行うもの。

※ 令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止。

令和4年度も開催中止としたが、いわて医学奨学生サマーセミナーにおいて、知事の講話を実施した。

実施年度	H29	H30	R元	R2	R3	R4
参加実績	31名	23名	23名	中止	中止	中止

② いわて医学奨学生サマーセミナー

医学奨学生と奨学生 OB・OG 医師との交流を図り、奨学生の段階的成長を様々な角度からサポートすることにより、奨学生の地域医療に取り組む意識の醸成を図るもの。

岩手医科大学奨学生 5 名が実行委員となってセミナーを企画し、世話人として奨学金養成医師 12 名が学生をサポートする形で開催。

※ 令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ウェブ開催としたもの（令和 4 年度は 7 月）。

実施年度	H30	R 元	R2	R3	R4	
実績	学生	77 名	60 名	35 名	52 名	41 名
	OB・OG	29 名	38 名	23 名	18 名	32 名
	合計	106 名	98 名	58 名	70 名	73 名

③ 奨学金養成医師集合研修（地域医療実践研修）

中小医療機関に勤務する前の奨学金養成医師を対象に、地域診療（総合診療）マインドの育成を図るもの。

※ 令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ウェブ開催としたもの（令和 4 年度は 11 月に実施）。

実施年度	H30	R 元	R2	R3	R4
参加実績	18 名	—	22 名	45 名	26 名

※ 令和元年度は開催見送りとしたもの。

（2）医学部進学者の増加対策

ア 医学部進学セミナー等の開催

① 医学部進学セミナー

高校生に対し医学部進学 of 動機付けを行うもの。医師の講演、臨床研修医とのフリートークにより、医師の業務内容等について理解を深める。

※ 令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催方法を見直し、高校 2 年生の医学部対策講座において、医師による講演を実施。（8 月）

実施年度	H28	H29	R1	R2	R3	R4
参加実績	127 名	108 名	86 名	81 名	86 名	83 名

（平成 30 年度は、開催時期の見直し（3 月→夏季休暇中）に伴い実施せず）

② 高校生への医学部受験対策（H26 年度～）

医学部志望の高校生に対して、医学部入試の傾向や学習方法について予備校の講師による授業を実施してきたところ。

令和 2 年度からは、保健福祉部、医療局、教育委員会の連携により、高校生に医師を志す動機付けを図るとともに、医学部への進学を希望する高校生の学力向上、医学部への進学を支援する「岩手メディカルプログラム」を新たに開始。

学年	参加者（登録者）							
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
3 学年	65 名	80 名	83 名	78 名	70 名	85 名	89 名	81 名
2 学年	83 名	77 名	64 名	66 名	69 名	74 名	66 名	82 名

※ R2 以降は「岩手メディカルプログラム」参加登録生徒数

また、本プログラムでは、受験対策講座の他、岩手医科大学附属病院及び沿岸被災地の病院を訪問し、講話の聴講や医師体験を通じて、医師の仕事や地域医療

に対する理解促進にも取り組む。

※ 令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、病院への訪問等は行わず、医学部対策講座に県内の医師を招聘して、講演を実施。(2月)

③ 中学生向け医学部進学セミナー等の開催

中学生及び保護者を対象に、予備校講師による講演やオープンホスピタルでの職場体験等を通じて、医師の仕事に対する理解を深めてもらう。

※ 令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止。

イ 医学奨学金の周知等

高校の進路担当教諭、医学部進学検討中の高校生、保護者向けに、奨学金制度の理解増進のためのリーフレット等により周知。

(3) 奨学金養成医師の計画的な配置

〔配置調整の概要〕(R4.4.1現在)

	計	義務履行	猶予	返還	義務終了
配置1期生(配置7年目)	30人	18人	10人		2人
配置2期生(配置6年目)	27人	20人	4人	1人	2人
配置3期生(配置5年目)	35人	19人	14人		2人
配置4期生(配置4年目)	36人	14人	21人	1人	
配置5期生(配置3年目)	32人	21人	11人		
配置6期生(配置2年目)	43人	19人	22人	2人	
配置7期生(配置1年目)	37人	11人	24人	2人	
計	240人	122人(29人)	106人	6人	6人
	地域枠 89人	54人	34人	1人	-人
	市町村 45人	21人	22人	1人	1人
	医療局 106人	47人	50人	4人	5人

※ () は基幹病院以外(中小病院等)の医療機関に配置する養成医師の人数

(4) 臨床研修医の確保及び定着

指導医の研修等により研修内容を充実するとともに、臨床研修医へのオリエンテーションや各病院の研修プログラムの相互補完により、県内の各臨床研修病院が一丸となった研修体制を整備。

ア 臨床研修病院合同説明会

医学生を対象に「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」※を説明し、県内での臨床研修を働きかけ。※12の臨床研修病院

また、希望者に対し病院見学の日程調整を行い、見学に繋げている。

実施年度	R元	R2	R3	R4
参加実績	330名	214名	601名	429名

(令和4年度は、令和4年12月31日現在)

※ 令和4年度は、WEB説明会(5月)のほか、WEBを利用した個別相談会及びセミナー(7月)を開催した。また、医学生会員数最大のレジナビが主催するレジナビフェア2022 in 仙台(10月)に出展し、来場した医学生に県内の臨床研修病院をPRするとともに、県内病院で臨床研修を受けるよう働きかけを行った。

イ 県内臨床研修病院合同面接会

臨床研修医の採用面接について、県外からでも交通アクセスの良い盛岡市において、いわてイーハトーヴ臨床研修病院群が合同で面接会を実施することにより県外医学生の参加を促すほか、県内の臨床研修病院を広くPR。毎年8月に開催。

令和4年度も、新型コロナ対策として、本面接会とは別日程で病院独自のオンライン面接を可能とした。

実施年度	R元	R2	R3	R4
参加実績	46名	45名	38名	41名

今年度の状況 日程：令和4年8月7日(日)
 場所：アイーナ
 受験者：41名（併願を含む延数：73名）
 スタッフ：医師等面接担当者34名、研修医・事務局長等17名、事務職員等36名

・令和5年度病院別（12病院）のマッチング後の状況 (単位：人)

病院名	医大	日赤	済生会	盛岡市立	中央	大船渡	宮古	胆沢	磐井	久慈	中部	二戸	計
定員	40	8	4	4	19	7	5	8	8	5	12	5	125
マッチング数	5	7	0	4	19	0	1	8	6	4	8	5	67
2次募集等	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	7
留年等	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
採用予定者数	5	8	0	4	19	1	1	8	5	5	11	5	72

※自治医大採用は2次募集等を含む（令和4年12月31日現在）

ウ 臨床研修医合同オリエンテーション

1年次の臨床研修医を対象に、研修を始めるに必要な医師としての心構えや手技の習得を促しつつ、研修医相互の交流を図るもの。毎年4月開催。

実施年度	R元	R2	R3	R4
参加実績	75名	中止	67名	61名

※ 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る観点から、WEB会議形式で開催した。

エ レジデント スキル アップセミナー

2年次の臨床研修医を対象に、臨床研修での習得状況を確認し、その場で指導を受け、適切に対応できる診療能力の向上を図るもの。毎年9月開催。

実施年度	R元	R2	R3	R4
参加実績	72名	中止	57名	64名

※ 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、3年ぶりに集合形式により開催した。

オ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）セミナー

臨床研修必須項目のひとつとなったアドバンス・ケア・プランニング（ACP）について、令和3年度のプレ開催を踏まえ、2年次研修医を対象に新たな事業として実施した。参加実績：令和4年度_66名

カ 臨床研修指導医講習会

指導医を対象に、臨床研修医の継続的な確保のため、厚生労働省が示す臨床研修医指導医講習会の開催指針に則り、充実した研修プログラムの作成・提供に必要な講習を行い、指導医の養成を図るもの。令和4年度から1月に実施。

実施年度	R元	R2	R3	R4
参加実績	35名	中止	50名	45名

※ 令和4年度も、岩手医科大学附属病院との共催でオンライン形式により開催した。

キ 指導医FD（ファカルティ・ディベロップメント）

指導医の一層の資質向上と研修内容の充実を目指すもの。毎年1回開催。

実施年度	R元	R2	R3	R4
参加実績	中止	中止	中止	中止

※ 令和4年度は、臨床研修指導医講習会と兼ねて実施したため、単独での開催なし。

ク 研修プログラムの相互補完（いわゆる「たすき掛け」）

県内12の臨床研修病院すべてが協力病院として連携し、各臨床研修病院の研修プログラムについて相互補完し、相互の強みを生かす研修体制。

（5）寄附講座の設置

障がい児及び障がい者（以下「障がい児者」という。）の医療に携わる医師等の人材育成や確保に取り組み、障がい児者医療の質の向上等を図るため、県の寄附講座として岩手医科大学に障がい児者医療学講座を設置。

ア 設置期間

令和2年度から令和4年度（令和5年度から令和7年度まで延長を予定）

イ 医師の育成・確保に関する取組状況

- ① 療育センター小児科外来への週3日の診療応援
- ② 岩手医科大学医学部における臨床実習（障がい児医療に関する講義及び療育センターでの医学生又は初期研修医の診療陪席）
- ③ 発達障害対応力向上研修をはじめとした各種研修会の講師対応

（6）即戦力医師の招へい

即戦力となる医師の確保を図るため、岩手医科大学同窓会（圭陵会）医師、県出身医師、大学医学部などを個別訪問し、医師と面談。

ア 招へい医師数の状況

（単位：人）

項目	H18 ～ H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
招へい数 (うち既退職者)	66 (49)	25 (20)	10 (7)	11 (5)	8 (4)	9 (6)	9 (4)	6 (4)	16 (7)	9 (1)	12 (1)	7 (0)	188 (108)
累計	66	91	101	112	120	129	138	144	160	169	181	188	—
在職者数 (各年度末)	51	61	65	62	65	66	68	62	71	70	78	80	—

令和4年12月31日現在

イ 招へい医師の退職の状況

(単位：人)

項目	H18 ～ H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
年度別退職者	15	15	6	14	5	8	7	12	7	10	4	5	108
累計	15	30	36	50	55	63	70	82	89	99	103	108	—

※年度末退職者は翌年度に計上

令和4年12月31日現在

(7) 自治医科大学卒業医師の配置

令和3年度		令和4年度				
義務履行中	16	義務履行終了	3	} 義務履行 13名 } 臨床研修 8名 } 臨床研修 6名		
		結婚協定による他県勤務	2			
後期研修	6	義務履行 継続	10			
		義務履行 再開 (後期研修終了)	2			
臨床研修	5	義務履行 開始	1			
		後期研修 継続	4			
		後期研修 開始	4			
		2年次臨床研修	3			
計	27	1年次臨床研修	3		計	27

(8) 地域医療支援センターによる医師不足医療機関の支援

医師の地域偏在解消を図るため、医師不足の状況等を把握・分析し、地域医療に従事する医師のキャリア形成支援、医師不足病院への医師の派遣調整等を行っている。

(9) 県内市町村との連携強化

単独事業により医師養成事業を実施している9市町と、奨学金制度や専門医制度などに関する情報を共有し連携することを目的とする情報交換会を開催。

2 医師偏在対策

(1) 奨学金養成医師の計画的な配置 (再掲)

(2) 地域医療支援センターによる医師不足医療機関の支援 (再掲)

(3) 奨学金養成医師の診療応援・短期派遣

○ 奨学金養成医師による中小病院等への応援状況 (地域枠義務履行)

年度	応援医師数 (人)	配置先基幹病院 (応援医師数)	応援先医療機関 (応援医師数)
R 3	6	中部(3)、宮古(1)、 二戸(2)	5施設 さわうち(2)、金ヶ崎診療所(1)、山田 (1)、軽米(1)、九戸センター(1)
R 4	8	中央(1)、中部(2)、 久慈(2)、盛岡市立 (1)、盛岡赤十字 (1)、北上済生会(1)	5施設 さわうち(1)、金ヶ崎診療所(1)、葛巻 (2)、一戸(2)、遠野(1)、釜石(1)
R 5 (予定)	5	中部(2)、磐井(1)、 盛岡赤十字(1)、 北上済生会(1)	5施設 さわうち(1)、金ヶ崎診療所(1)、 一戸(1)、遠野(1)、釜石(1)

(4) 自治医科大学卒業医師の配置 (再掲)

(5) へき地医療対策等

○ へき地拠点病院からへき地診療所への医師派遣等実績 (単位: 施設、回)

へき地拠点病院	R元		R2		R3	
	施設数	回数	施設数	回数	施設数	回数
県立中央病院	2	42	1	21	1	21
県立久慈病院	1	13	1	18	1	13
済生会 岩泉病院	4	95	4	90	4	94
清和会 奥州病院	4	99	4	102	4	97
合計	11	249	10	231	10	225

※ 清和会奥州病院: 巡回診療の実施地区数及び回数

(6) 積極的な偏在対策の実施に関する国への提言等

ア 地域医療基本法制定に向けた取組

○ HPや医療関係誌等を活用した広報

- ・ 地域医療基本法ホームページを活用した広報
- ・ 医療関係誌への意見広告掲載

イ 「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」の情報発信

- 「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」シンポジウムを開催 (7/15: 都道府県会館、講演: 尾身 茂先生ほか)
- 厚生労働省・文部科学省に対して提言活動を実施 (8/22)
- ホームページを活用した情報発信

3 医師のキャリア形成支援

(1) 臨床研修医の確保及び定着 (再掲)

(2) 専攻医の受入態勢の充実

専門研修プログラムのガイドブックを作成し、奨学金養成医師との面談やセミナー等の機会を通じて、本県プログラムの周知・PRを実施。

(3) 総合医の育成

奨学金養成医師を対象として、地域診療(総合診療)マインドの育成を図る奨学金養成医師集合研修(地域医療実践研修)を開催。

(4) 奨学金養成医師対応したキャリア形成プログラムの充実

配置基本パターンや診療科別の義務履行モデルを参考に、医師支援調整監と共に奨学金養成医師と個別に面談を行い、義務履行と並行したキャリア形成を支援。

4 女性医師やシニア世代の医師等の多様な働き方の支援

(1) 女性医師就業支援事業

保育者を確保する「育児支援」と、離職医師の復帰研修を行う「職場復帰支援」。

R3年度実績: 育児支援(支援日数)44日(延べ利用者3人)、職場復帰研修5人

(2) 院内保育所夜間運営支援事業

夜間延長保育の導入を促し、女性医師の離職防止及び再就業を促進。

R3年度実績: なし(対象施設の運営時間短縮により)

5 医師の働き方改革等に対応した勤務環境改善支援

(1) 勤務環境向上支援

過重労働等による勤務医の離職の防止や、医療安全の確保、近年増加している女性医師の就業支援など、勤務医の勤務環境向上に向けた取組みを推進。

ア 産科医等確保支援事業

分娩手当等を支給する病院に対し、必要な経費を補助。

R3実績：岩手医大附属病院、盛岡赤十字病院、北上済生会病院及び県立8病院 計11病院

イ 新生児医療担当医確保支援事業

NICU担当医に手当を支給する病院に対し、必要な経費を補助。

R3実績：岩手医大附属病院 1病院

ウ 中核病院診療応援事業

中核病院の医療提供体制を確保するため、地元医師会の協力を得て開業医との連携による診療応援体制の整備に要する経費に対し補助。

R3実績：釜石市（診療応援）、県立2病院（診療協力：中央、一戸）

(2) 医療勤務環境改善支援センター

専任スタッフの配置や労務管理等に関する専門アドバイザーの派遣等により勤務環境改善に取り組む医療機関からの相談に対応しているほか、各医療機関の勤務環境改善の取組に要する経費を補助（補助率1/2、補助上限額150万円）。

R3年度実績：4病院（高松、川久保、ひがしやま、三愛）

(3) 医師の働き方改革の推進と地域医療を守るネットワークいわて

医師の働き方改革を進めながら、地域の医療体制を確保していくための課題等を関係団体で共有し、関係団体による取組を一層推進することを目的として設置。

令和4年度は、医師の働き方改革に関する研修会をWEBで開催（9月）するとともに、ネットワーク会議を対面とWEBのハイブリッド形式で開催した（11月）

また、医師の働き方改革に関するポスター及びリーフレットを作成し、県民への周知を行った。

ア 研修会

実施年度	R2	R3	R4
参加実績	33 医療機関	27 医療機関	38 医療機関

イ ネットワーク会議

実施年度	R3	R4
参加実績	12 団体	10 団体

6 地域医療の確保に向けた働きかけと情報発信

(1) 県民総参加型の地域医療体制づくり

ア 県民みんなで支える岩手の地域医療推進事業

イ 県民への意識啓発のため、適正受診啓発のためのマンガ冊子の制作や、各地域の実情に応じた出前講座等を開催。

(2) 積極的な偏在対策の実施に関する国への提言等（再掲）

(3) 医師少数都道府県連携による情報発信（再掲）